

Lavoro

～ラヴオーロ～

法務省東京矯正管区

〈刑務作業広報誌〉

2024

No.007

横須賀
刑務支所編



刑務作業の御依頼はこちらへ

窓 口	電 話 番 号	主 な 業 種
法 務 省 矯 正 局	03-3580-8814	
東 京 矯 正 管 区	048-601-1607	
水 戸 刑 務 所	029-273-9796	木工、洋裁、金属、その他
栃 木 刑 務 所	0282-27-9611	洋裁、金属、その他
喜連川社会復帰促進センター	028-686-3111	木工、金属、その他
前 橋 刑 務 所	027-223-3024	木工、印刷、金属、革工、その他
千 葉 刑 務 所	043-232-6079	木工、印刷、洋裁、金属、革工、その他
市 原 刑 務 所	0436-36-6001	金属、その他
東日本成人矯正医療センター	042-500-5271	その他
府 中 刑 務 所	042-362-2101	木工、印刷、洋裁、金属、革工、その他
横 浜 刑 務 所	045-842-0040	木工、印刷、洋裁、金属、革工、その他
横 須 賀 刑 務 支 所	046-842-4983	その他
新 潟 刑 務 所	025-286-5626	木工、金属、その他
甲 府 刑 務 所	055-241-8878	木工、洋裁、金属、革工、その他
長 野 刑 務 所	026-248-1114	洋裁、金属、革工、その他
静 岡 刑 務 所	054-261-2886	木工、印刷、洋裁、金属、その他
川 越 少 年 刑 務 所	049-242-0226	木工、金属、その他
松 本 少 年 刑 務 所	0263-32-3093	木工、印刷、洋裁、金属、その他
東 京 拘 置 所	03-3690-6681	その他
立 川 拘 置 所	042-540-4191	その他

メールでのお問合せ先

Kyosei-sagyou@i.moj.go.jp

- 件 名：刑務作業依頼
- 記載事項：①会社名
②住所
③連絡先（電話番号、FAX 番号、E-Mailアドレス）
④担当部署、担当者名（ふりがな）
⑤作業内容、希望人員、希望地域など
⑥その他要望事項

表紙のLavoro（ラヴォーロ）とは
イタリア語で「働く」という意味
です。

—取材先—
横須賀刑務支所

—企画・取材・編集—
東京矯正管区成人矯正第三課

—発行—
東京矯正管区

〒330-9723
さいたま市中央区新都心 2-1
さいたま新都心合同庁舎 2 号館 13 階
【TEL】048-600-1500 【FAX】048-600-1505



本誌のバックナンバーは
こちらから▼





歴史

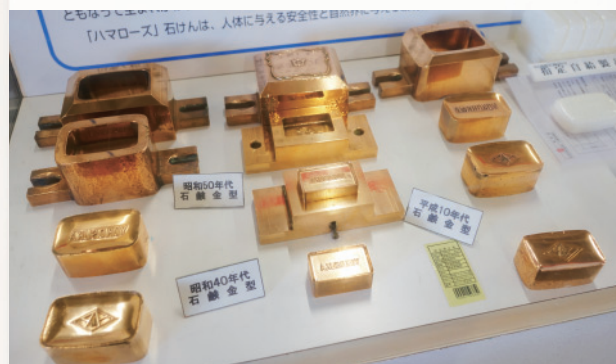
History

大正15年（昭和元年）、全国の刑事施設での部内利用を目的として石けん製品の製造が始まり、昭和26年に横浜刑務所に石けん製造工場が開設されると、本格生産へと移行し、昭和30年には、横浜刑務所で生産される石けんは「ハマローズ」と命名され、親しまれてきました。

平成9年、横浜刑務所の全面改築工事に伴い、石けん製造工

場が横須賀刑務所（当時）に移転され、以降も横須賀刑務所で生産された石けんは全国の矯正施設で利用していただいております。したが、設備の老朽化等により、令和5年度末までに粉末石けん及び固形石けんの生産を中止し、惜しまれつつも、部内利用の全ての石けんの生産を終了することになりました。

横須賀刑務支所
石けん製造工場略年表



横浜刑務所で生産される部内利用の洗濯用固形石けんは、昭和30年、ハマローズと命名されました。これは、当時人気だった芸能人のコロンビアローズの「ローズ」と横浜の「ハマ」を掛け合わせたのが由来とされています。



和暦	西暦	内容
大正15年	1926年	全国刑事施設の部内利用のため、小規模ながら石けん製品の製造を開始。
昭和26年	1951年	横浜刑務所に石けん製造工場が開設され、本格的な生産が始まる。
昭和30年	1955年	横浜刑務所で生産される石けんを「ハマローズ」と命名。芸能人のコロンビア「ローズ」と横浜の「ハマ」が由来とされる。
昭和32年	1957年	企業との大口契約による固形・粉末洗濯石けんの生産開始。
平成2年	1990年	同年5月8日、一般顧客向けの製品として「ブルースティック」が、泥や脂などの部分汚れに特化した洗濯用石けんとして開発される。
平成9年	1997年	同年1月、横浜刑務所の全面改築工事に伴い、部内利用製品の生産を継続するため、石けん製造工場が横須賀刑務所に移転される。
平成13年	2001年	同年12月3日付け東管作発第3190号「管内刑務作業充実化対策の試行について（指示）」により、横須賀刑務所の石けん製造工場が国際規格ISO9000シリーズ導入のモデル工場に選出される。
平成15年	2003年	同年9月、横須賀刑務所の石けん製造工場がISO9001の認証を取得する。
平成19年	2007年	横須賀刑務所が、横浜刑務所管下の支所へ移行し、「横浜刑務所横須賀刑務支所」となる。
平成24年	2012年	同年8月29日、ブルースティックにオレンジオイルを配合した「ブルースティックオレンジ油入り」が開発される。
平成29年	2017年	協力企業の特許技術を使用した液体洗剤として「ブルースティック液体版」を開発する。
令和5年	2023年	設備の老朽化等により、粉末石けん製造を中止する。
令和6年	2024年	部内利用の固形石けん製造を中止する。

横須賀刑務支所

施設の歴史

明治15年に神奈川県三浦郷公郷村に獄舎を新築し、東海鎮守府監獄囚課と称したのが始まりとされています。海軍省管轄のいわゆる海軍監獄であり、海軍刑法に違反した軍人・軍属を収容したとされています。

昭和26年には中国人受刑者の

集禁施設となりましたが、昭和30年からは、日本国に駐留する外国人部隊の構成員及び軍属並びにこれらの家族である受刑者の集禁施設となり、現在は、米軍関係受刑者のほか、A指標受刑者を収容しています。



海軍刑務所当時の量水器を移設したもので、観音開きの扉の中央部分には「錨」のマークが刻印されています。

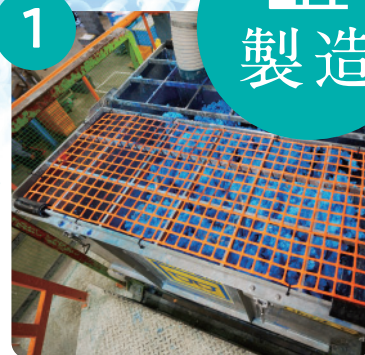


昭和30年頃の
横須賀刑務支所



横須賀市大津町に所在していた頃の写真です。当時、米軍関係受刑者は90人近く収容されていました。

製造



原材料をかくはん機に投入し、良く練り合わせます。



大型機械で練り合わせる材料は、その日の温度、湿度で配合比率も変えています。



材料をかくはんし、細かい塊にして次の工程へ運ばれます。いよいよ押型成形です。



運搬過程でこぼれ落ちるチップも回収して無駄なく再利用します。



成形されたばかりのブルースティック。このケースにおよそ400本入っています。



石鹸成分が溶けださないように素早く包むのが秘訣。1本1本手作業で実施しています。



全国にある刑務所作業製品展示場、矯正展等へ出荷され、皆さまにご愛顧いただいております。



最後に両サイドを折り曲げて固定すれば完成。お馴染みの「ブルースティック」が誕生！



特に夏場の作業は素早く、正確に包む技術が必要です。包み方もきちんと順番通りに。



練り合わせた原材料はベルトコンベアで運ばれ、次の「成形工程」へ運ばれます。



材料

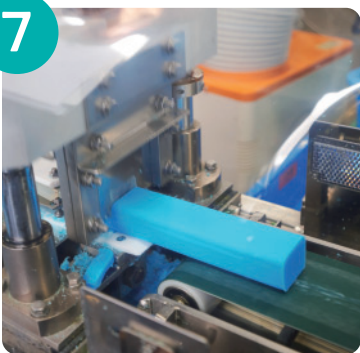
数種類の洗浄成分材料を組合せて原材料を用意します。ブレンド配合は企業秘密!?

6



圧縮機にかける直前窯。厳しいチェックで成形不良とみなされた製品も再度圧縮されます。

7



おなじみの形に成形され、定量の長さで自動的にカットされ、次々と製品が誕生します。



完成



ブルースティック ができるまで



ブルースティックの製造工程

ここからは、展示場売店や矯正展でも大人気商品の「ブルースティック」が出来るまでを紹介します。様々な工程を経て製品になっていく様子を、一通りご覧ください。



岡島作業専門官

● プロフィール

石けんの作業指導及びビジネススキル科及び農業園芸科の職業訓練を担当。高い市場ニーズに応えるため、ブルースティックを効率よく増産するための生産計画を立案しています。また、「心をこめた作業で人に喜ばれる商品を作ろう」を品質方針として、誠実な製品作りを行っています。

● 作業指導への思い

当所の石けん工場はISO9001の認証を取得していますが、就業する受刑者は、同認証の有無にかかわらず、高品質の製品を製造しようと、一切の妥協なく、丁寧に、また、忍耐強く作業に打ち込んでいます。そんな彼らを見ると、刑務作業に従事することが健全な社会復帰に寄与するのではないかと感じます。



平成13年、管内刑務作業充実化対策（試行）の発出を受け、刑務作業製品の品質向上策の一環として、当所の石けん工場が国際規格であるISO9001シリーズ導入モデルとして選出され、平成15年、全国の刑事施設にある工場で唯一、ISO9001の認証を取得しました。以降、毎年、維持・更新のための厳しい審査を受け、現在に至るまで認証を継続しています。

施 工 設 場

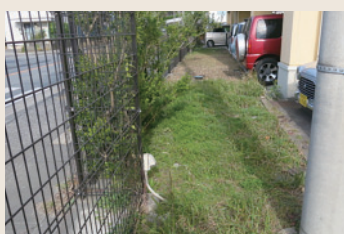


ISO9001は、顧客に提供する製品・サービスの品質を継続的に向上させていくことを目的とした品質マネジメントシステムの規格です。



社会貢献作業とは、「社会に貢献していることを受刑者が実感できる刑務作業」であり、当所においては、高齢者福祉施設の敷地内の除草・清掃作業を行っています。作業に就業する受刑者からは、少しでも社会の役に立っているとの実感が持てる良い機会であるとの感想も聞かれ、社会貢献作業が受刑者の健全な社会復帰の一助となることを期待しています。

社 会 貢 献 活 動



平成28年から始めた社会貢献作業ですが、福祉施設職員からは、駐車場周辺の環境整備になかなか手が回らない状況なので助かると、たいへん喜んでいただいています。

ブルースティックの誕生

平成2年5月8日、泥や脂などの部分汚れに特化した洗濯用石けんとして、ブルースティックは開発、誕生しました。

ブルースティックの「ブルー」はきれいで爽やかな青空をイメージしたものとされています。

平成24年には、オレンジオイルを配合した「ブルースティックオレンジ油入り」が、平成29年には協力企業の特許技術を使用した液体洗剤の



「ブルースティック液体版」がそれぞれ開発され、「よく落ちる!」と評判の人気商品として多くの方々に御愛用いただいています。

令和5年5月、ブルースティックをふるさと納税の返礼品にできないかとの寄附者からの声を受けた横須賀市から、地域の特産品を全国にPRすることで地域経済を活性化させ、また、刑務所で生産される製品を返礼品として提供することで、ふるさと納税を通じた社会貢献を実現したいとの考えが示され、ブルースティック詰合せセットが返礼品として登録されました。



令和6年3月に投入したプレミアム感漂うパールウォッシュは、洗浄力が高く、しかし手肌に優しい食器洗い用液体洗剤で、令和5年度東京矯正管区製品開発コンクールにおいて、最優秀賞（自由企画製品部門）を受賞しました。

ブルースティックのなかまたち



当所では、人気のブルースティックのほか、ミントの香りが心地よい重曹入り洗濯石けんやお子様に大人気のカニ石けんを生産し、ラインアップを充実させています。

